



日清医療食品は、多様なヘルスケアフードサービスを提供していくために、多彩な人材の育成に努めるとともに、個々の人材が能力を発揮できる職場環境づくりに努めています。

ダイバシティの推進

日清医療食品は、さまざまな社会課題に応えるサービスを提供し続けるうえで、多様な人材が能力を発揮することが必要であると考えています。そのため、国籍や性別、年齢、障がいの有無などに関わることなく活躍できるよう、多様な人材を受け入れ個性を尊重しあうことをダイバシティ推進方針とし、研修プログラムに取り上げて、その徹底を図っています。

障がい者雇用の取り組み

日清医療食品では「感謝の気持ちと謙虚な姿勢を忘れずに社是を『心』とする」という基本方針のもと、多彩な人材が活躍しています。「障がいのある人もない人も、お互いに特別区別されることなく、社会生活をともにすることが正常なことであり、本来の望ましい姿である」という考え方にに基づき、障がいのある方の雇用に努めるとともに、誰もが快適に働くことができる環境づくりを目指しています。

ハーティセンターでの取り組み

日清医療食品では、2015年から障がい者就労センター「ハーティセンター」を開設し、当社内の一部事務作業を行っています。

また、地域の特別支援学校から職場実習を積極的に受け入れています。(2015年から48名受け入れ)

障がい者雇用数・雇用率の推移

	2015年度	2016年度	2017年度
障がい者雇用数	789名	855名	796名
雇用率	2.20%	2.32%	2.30%

「育児休業取得者が多い」会社

トップ
100社の中で
9位

677名
育児休業取得者

※2016年 東洋経済社調べ

「介護休業取得者が多い」会社

トップ
100社の中で
10位

21名
介護休業取得者

93日
介護休業取得可能最長期間

※2017年 東洋経済社調べ

人材育成

栄養士・調理師の育成

栄養士・調理師の育成にあたっては、「専門的なスキル」と「寄り添う心」の両面からの成長を重視し、全社共通の研修プログラムを活用しています。

また、職場におけるOJTでは支店独自の取り組みを通じて地域ごと、現場ごとの課題を見据えた人材育成を行っています。

教育研修プログラム



VOICE

教育プログラムを受講した新入社員の声

- ・トップシェアの会社の高度なノウハウが身につく
- ・医療・社会福祉施設・保育施設などさまざまな業務を体験できる
- ・研修制度が充実している
- ・栄養士と調理師で情報交換の場がある
- ・相談できる先輩・仲間がいる

総合職の育成

営業や管理部門を担当する総合職の新入社員育成は、ワタキューグループ研修センター「一心館」にて1年間実施しています。2011年4月に京都に開設した「一心館」では、ワタキューグループとしてのビジネスマナーや、業務スキルなどの習得や、グループ各社の業務理解、富士山清掃や施設でのボランティア実習を通じて、思いやりの心もち、互いに協力できる人材への育成を行っています。



日清医療食品は、ヘルスケアフードを日本全国に展開するリーディングカンパニーとして、培ってきた「食」の知見・人材などを活かした、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

食育活動

日清医療食品は、病院や社会福祉施設、保育施設への食事サービスの提供を通じて高めてきたヘルスケアフードの知見を活かして、食育活動を展開しています。2018年は高齢者にお弁当などを提供されている方や未来を担う子供たちに、栄養



おにぎらずのランチボックスづくりのワークショップ

バランスとともに「噛む・飲み込む」に配慮した献立などについて学ぶ機会を提供。安全で健康的な食事を取っていただくことで、高齢者の在宅療養や、子供たちの健やかな成長を支援しています。



高齢者への食事についての研修会

産学連携・育成支援

少子高齢化に伴い、病院や社会福祉施設の現場ではますます即戦力となる管理栄養士が求められるとともに、技量がいらず誰でも均一な食事提供ができるクックチル方式の重要性が高まっています。しかし授業の現場では、企業と連携をしない限り、クックチル方式について実務を経験できないのが実情です。

こうした背景を受けて、日清医療食品は、管理栄養士の養成を目指す大学の授業において、クックチル方式の「モバイルプラス」を調理実習に提供しています。実務を知る即戦力の人材を育成することで、業界活性化を図っていきます。

VOICE

実習に参加した学生の声

モバイルプラスを活用したクックチルでの調理工程において、下処理の工程がなく、調理へ早く取りかかることができ、食品の衛生面でも優れていると感じました。またインシデントの発生する確率も抑えられると感じました。



モバイルプラス通常食 和洋女子大学での実習風景

社会貢献活動

日清医療食品は、病院・社会福祉施設に関わる企業として献血活動を支援しています。

社会貢献性の高い献血活動を喚起するとともに、森林保全の必要性、そして被災地支援への意識啓発につなげる活動として「献血で被災地支援を！」のキャンペーンを実施しています。

このキャンペーンは日本赤十字社と協力のもと、年2回献血実施者に対し、寄付付きノベルティとして被災地地域の間伐材の杉を使用した木のできた折り紙を配布。折り紙1枚につき、25円を日本赤十字社の災害地支援として寄付する仕組みです。



写真提供：日本赤十字社